

学びは常に玉川の丘に用意されています。通信教育部で学んだ先輩を中心に、現在の仕事や地域での活躍をインタビューします。

生涯学べ第18回 特別支援教育にできること



日良久美 北海道川上郡美瑛町「そだちの教室」臨床発達心理士
特別支援教育士「S.E.N.S」
通信教育部で2000年小学校教員一種免許状、
2004年学士学位取得（大学卒業）

1993

入学時はなじめなかった通大だが、スクーリングを重ねるうち、人との出会いに共感し仲間も増える。福岡で臨時的任用の教員をしながら学ぶ



通大で出会った北海道の友人から、博多の私のところに新巻鮭が届きました。鮭のおなかの中には教員採用試験の願書が入っていた。採用試験に真正面から向き合えず、何度も不合格になり、焦燥と半ばあきらめがあった私に、「もう一度、挑戦して」というメッセージだったんです。

福岡教員養成所で小学校教員の二種免許状を取った後、学位取得めざして玉川の通大に入学、同時に福岡で小学校の臨時的任用教員

人の話を聞くことは、とんでもなく難しい
でも、やっと自分のやりたいことに行き着いた

となったのは二二歳。でも、正規採用の教員と同じ仕事をしているつもりなのに待遇が違うことや、通大でも、教員養成所での単位が認められないことに矛盾を感じたりしてなじめず、すごく葛藤があった。なかなか採用試験に集中できませんでした。まずすべてを受け入れないと前には進めないと、今なら分かるんですが。

やがて試験勉強はそっちのけで、夜間、博多の識字学級で教えるようになりました。教育の機会がな

かったり学習障がいがあったりして、文盲の人もあります。そこで出会った小学校三年生の男の子には一たす一から教え、一年間かけてやっと勉強が好きになってくれたように思いました。臨用教員なので私はまた別の小学校へ赴くけれど、「先生ありがとう」って言うてもらえると信じていたんです。

でも、彼はすごい形相で私に石を投げつけに来た。そのこの意味を考えて考えて、私は自分が、自分の一生懸命さに酔っていただけと気づきました。「助けてあげた」という傲慢さ。家庭的に恵まれなかった彼にとって親より近い

1996

北海道で採用され、釧路市で教員生活3年目。通大には再編入して学び続けていた。支部で企画した勉強会で米山弘先生を囲み、札幌で集まった



1996

夏のスクーリングには北海道から玉川の丘へ。通大では2000年に小学校教員一種免許状取得、2003年には再々編入し、学位を取得して卒業した



存在になっていたのに、私は一年間という区切りで勝手に満足した。捨てられたと思っただろう彼の痛み。今も繰り返し思い出します。

私はこの体験で、教師と家族は違うこと、本気で寄り添うには資格も立場も得て、たとえ場所が変わっても、ずっと同じ姿勢で続けていると言えなくはと思いましたが。そして届いた新巻鮭。玉川の友人にももらったきっかけが大きな転機になり、福岡でなく北海道の教員採用試験を受けて合格。二八歳でした。

釧路勤務に始まり、ここ美瑛町に移ってからは一年目です。その間に通大を卒業。北海道教育大学大学院で、まず養護学校（現、特別支援学校）教諭専修免許状を取得、さらに同大学院で学校臨床心理を専修し、特別支援教育に携わっています。

主にコミュニケーションに課題を持つ子どもが、小学校に在籍しながら定期的に通ってくる通級教室「ことばの教室」で教えていますが、さらに美瑛町では、通級だけでは限界がある子ども一人ひとりに対応するために「そだちの

教室」を設置。私は、この二つの教室と学校現場を連携させながら支援、指導をしています。

ここでは、学びの遅れ、不登校、発達障がい、対人関係での問題など、さまざまな子どもがいて、その保護者がいます。通常学級で教員が指導にとまどい、保護者も正しい理解がないと、子どもと一緒にどんどん孤立していく。なので、個性が分かるように解きほぐすためのアプローチをします。

「学校に行きたいのに行けない」「なぜ、うちの子が」という話は重くてしんどい。人の心を扱うなんて簡単なことじゃない。でも、私はようやく自分の役割を見出し

た気がしています。人の人生と一緒に歩くことはできないし、教師は家族とは違う。だからこそ境界線を引いて、特別支援の専門家として、真摯に話を聞き、助言することができるとははずだと。

「わが子の学習ペースを探っていくけるかも」「もう少しだけ子育て頑張れる」「いっぱい泣いてすっきりした」――面談後のそういう言葉ってやっぱり、明日という日を変えたいと思ったから出てくる。嬉しいんです。特別支援の理解が深まり、広まっていけば、地域の中でも生きやすくなる循環が生まれる。その手伝いをするのが、私にとって人に寄り添うことなのです。



北海道美瑛町「そだちの教室」で保護者にカウンセリングをする。子どもと家庭の多様な実態とニーズをくみ取った対応と、地域内での支援をめざす

通大の在籍者データ その③

玉川大学の通信教育部で学ぶ学生(科目等履修生を含む)の職業はさまざま、学習の目的もさまざまです。就職・転職のための教員免許・資格取得が多数を占めますが、現役の教員が2割以上在籍するのは、他種あるいは上級の教員免許取得のための学習が主です。教壇に立つからもお学び続ける教師を通大は支援しています。

職業別在籍者(科目等履修生を含む)

